

Leave

ついに、飛び立って行きました。いつも心配していた最後のつばめ達。毎日私が通りがかるその場所に、親達があちこち行ったり来たりして、熱心に巣作りをしていたのは、まだ肌寒い季節のことでした。しばらくすると、泥やら草っぱで固めた巣の端っこから、いっばいに開けた可愛い黄色い嘴が、親つばめが運ぶ餌を一生懸命つばむのが見えました。それは全部で5つあるのがわかりました。↗

息子へ

君は春、菜の花が風に
そよ姿を見たことが、ありますか
夏の初めの気持のいい海を
知っていますか
秋、落ち葉を踏みしめて
歩いたことがありますか
冬、空から無数に舞い落ちる雪が、
一瞬宙で
立ち止まるのを知っていますか
風に、においがあることを
知っていますか
太陽が沈む時、神々が
彩色したとしか言いようのない、
空の色、山の色を
見たことがありますか
夜の空には星があることを、
昼の空には時として月が出ていることを
知っていますか
人類がこの世に生まれてから
今に至るまで、
時代がどんなに変わっても、
人間は自然の中で
こんなことを感じながら
生きてきたのでしょ
君も目を遠くに上に、近くに下に、
ぐるりと見まわして感じて欲しいのです
茅ヶ崎の姉さんより

親達が毎日毎日運んでくる餌の甲斐あって、ヒナ達は日に日に大きく成長して行き、夏の日差しが強くなり始めた頃、黄色い嘴の代わりに、ピンとはねた燕尾服の端っこが幾つも見だして見えるようになりました。もう巣に全員入りきれないほど大きくなっていったのです。そろそろ巣立ちなのかなあと毎日見上げていましたが、飛び立っていく様子はありません。その尻尾も押し合いへし合いで、ついに5羽のヒナ達のうち2羽は、巣の近くの鴨居のところに出て行ったのです。それでも、その5羽は飛び立とうとしません。↗

はじき出された2羽も頭をじっと、自分の胸に埋めて、ちぢこまっています。もう、親つばめの姿はどこにも見えないのに、兄弟は、巣から去って行かないのです。もう、このヒナ達は、冬もここで越すつもりなのかと思いました。心配でした。ところが先日、唐突にそのヒナ達は消えていました。さよならを言う間もなく…… 巣も、鴨居もすっかり綺麗になってしまいました。空はいつの間にか高くなって、悲しいほどに青くなっていました。



COLUMN

鎌倉の猫事情 第六十話



今まで、色んな運命を乗り越えてきたというべきか、やり過ぎて来たと言うべきか、ともかく、グーニー君、だてに額の傷や耳のかきざぎを作って来たわけじゃないというような、すごみというか、迫力というか、そんなものを身につけてきたようです。ミルクホールに来てくださるお客様は、この「鎌倉の猫事情」で、お馴染みなのでしょう。たいていは、「あら、あなたがグーニー君なのね。まあ、可愛い！」なんておっしゃって下さいますが、冷静に眺めれば、とてもお世辞にも可愛いとは言えない風体になったのではないかと考えています。手のひらに乗るような小さな頃から面倒を見てきた言わば、親代わりの私が言うのだから、間違いはないでしょう。その証拠に、先日グーニーがお店の前をのたたりと歩いていたら、3人連れのご婦人達が「まあ、こわい」「大丈夫よ、黙って通り過ぎれば何もしやしないわ」なんて、ひそひそささやきながら、そそくさとグーニーの傍を通り過ぎたかと思うと、3人揃って走り去って行くのを見かけました。見かけはともかく、グーニー君、本当に人が大好きで、お店が何かの事情でお休みになったりして、人がいなくなるほど堪えることはないのです。ですから、あの仕打ちにはさすがに参ったと思います。人が大好きなグーニー君にとって、毎日スタッフやたくさんのお客様の出入りするミルクホールは、本当に願ってもない住家だと思います。1日何回もお店の様子を覗きにきては、怒られていますし、スタッフが裏でご飯を食べたり、大工仕事などしていると必ず見に来てそばに座っています。まあ、可愛いんですけどね。私達にとっては、でも、そんな人好きのグーニー君がまるで表に出られないほど、参っていた時期があったのです。今までの人生(猫ですが・・・)で一番の試練の時があったのです。それは、もう2年近く前のことでしたが、数ヶ月の間、生死の境をさまようような経験をしていったのです。

あの頃は乗り越えることができるとはなかなか思えませんでしたし、今こんなに元気に毎日を過ごしているのが不思議、というか、奇跡のような気さえするのです。この始まりは、今から3年ほど前にさかのぼります。例の額の傷がやっと癒えた頃、グーニーにちょっとした変化が見られたのです。

_____ to be continued

PIONIER Fatboot und Zeit verschaffen Ihnen gesunde und billige Ferientage. Sie kehren nach einer geruhsamen Wanderung auf einsamen Flüssen und Seen mit wirklich gestärkten Nerven zu Ihrer Arbeit zurück.

Werbefchrift kostenlos von der Pionier Fatboot-Werft Rod Tölz



FASHION

大正のモードと 夢二のファッション

松原

あの松原が忘らりよか、
紫の帯しめて、
松にもたれて待っていた、
あの娘のことが忘らりよか。

この松原は今もある、
もたれた松もそのままに、
そして其娘もこの俺も、
生きて日本にいるものを。

竹久夢二/作詞
妹尾幸陽/作曲



夢二が描く女性たちは、立ち姿では木や壁に寄りかかり、
座位では炬燵にもたれかかっているような姿勢が多い。
大正時代には帯板をつけず、着物が身体に馴染む日常着
だったこの時代、夢二の女性たちは少し背を丸め、やるせ
ない雰囲気漂わせています。

ミルクホールオリジナル 和の小もの

着物を、一人で着てみたい方の為に、
半襟や帯揚げも自分流に組み合わせたり、
伝統帯を汗をかかずに気楽に締めて頂きたい
ミルクホールの提案です

Milk Hall Times

ミルクホール30周年記念
1976~2006

人気連載中の
「鎌倉の猫事情」が第一話
から掲載されています。
グーニーくんの出生や、
愛妻スピーーとの宿命の
出会いなど。
他に、ミルクホール30年の
逸話の数々。
お楽しみ下さい。

¥1800

ミルクホールタイムス 総集編 「鎌倉ミルクホールタイムス」 1th ~ 100th

ミルクホールのホームページでのお申し込みもできます。
ミルクホール及び、鎌倉の書店にて販売中

HISTORY

場所の記憶 7 鎌倉の名のおこり

「鎌倉」という名まえは何から来ているのでしょうか？
どうやら色々な説があるようですが、
一番古いものでは、
神武天皇が、東夷を征服しようとして毒矢を放ったところ、矢に
当たって死んだ人が一万にもなりました。その死体の山が今の
鎌倉の山で、屍蔵(かばねくら)が鎌倉にしまったという伝説が
残っています。なんだか血生臭いものがあります。
また、藤原鎌足が茨城県の鹿島神宮に参詣したとき、その途中
由井(比)の里に泊まり、不思議な夢を見て、いつも持っていた
鎌(鎌槍)を大蔵の松が岡に埋め、それから鎌倉になったといわ
れています。

地形的なものでは、鎌倉の鎌はかまどのこと、倉は谷の意
味です。地形が三方は山、一方が海でかまどに似ていること、
大きな谷を大倉と呼んでいることなどから、鎌倉という地名に
なったものと思われています。

鎌倉の、独特の地形や、今に伝わる様々な血生臭い歴史を思
うと、つくづく納得のいく云われだと感じます。

鎌倉の記憶は神の世からずっと続いているのでしょうか？

かまくら子ども風土記より

PARTY

ミルクホールの BAR ROOMで
パーティを開きませんか？

ミルクホールで少人数の
パーティを企画してみませんか？

ミルクホールでは、BAR ROOMを利用
した、数人から15人程度の、小さな
パーティを承っております。

お友達同士のパーティに、思い思いの
スタイルで！

どうぞ、お気軽にご相談下さい。

カウンタースタッフまで

お問い合わせは、お電話かメールにて

0467-22-1179

<http://www.milkhall.co.jp/>
e-mail info@milkhall.co.jp

LIVE

第三土曜日のBAR TIMEは、
ハーフムーンのライブを
お楽しみ下さい

9/16S at pm 7:30

10/21Sat. HALF MOONの音楽は
愛と平和を歌います。

by 琢磨 仁(Jin Takuma)

琢磨 啓子(Keiko Takuma)

<http://www.e-half-moon.com/>



Milk Hall Now 和の小もの



ミルクホールオリジナル 和の小もの
大正・昭和初期時代の絹の着物の布地を
素材に使った和の小もの色々です

✂ つくり帯

古い帯を裁断し、ミシンでしっかり縫い上げました。
着物は普段着慣れていないと、締めるのがおっくうになっ
てしまいます。せめて帯は簡単に結びたいものです。

何本か持っている着物が身近になってきます。
初心者の方はもちろん、着物に慣れた方にも、お気
入りのつくり帯をお持ちになることをお勧めします。
またお買い上げの帯もつくり帯にお仕立て致します。

半幅帯蝶結び ¥2000より
名古屋帯おたいに ¥4800より



✂ 半衿・帯揚げ

着物の楽しさは、コーディネートを楽しむ
です。それには、既製の半衿や帯揚げで
は何か物足りないし、少し高価です。
ミルクホールでは、大正・昭和初期の着物
をほぐし、昔の絵柄の豊かさ、古い絹のや
わらかい手触りを生かして、半衿と帯揚げ
を作っています。

夢二の描いた女性達のように、
縞の着物なら、花柄の半衿、帯揚げは
明るい色の絞り・・・などと、自由に楽しい
組み合わせをお楽しみ下さい。

半衿 ¥800より
帯揚げ ¥800より

ANTIQUES ... アンティーク

➡ 着物・古着

大正期のアンティークの着物を始め
最近仕立てられた着物・ジャケットなど
買いやすい値段で、掘り出し物も！
大正着物 ¥5800より

◆ アンティーク

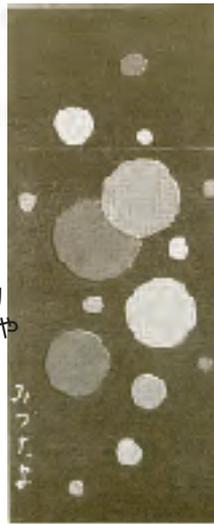
アメリカ製カーミット(セサミストリート)
電話機(使用可) ¥18000
不二家ポコ・ペコ人形 新入荷
昭和初期レトロポスター 新入荷
大正婦人像額絵
昭和初期ポストンバッグ・トランク各種
大正照明器具各種

つくり帯
半衿・帯揚げ
くるみボタン
かんざし



夢二デザインの 半衿の図案

当時雑誌の付録とな
りました。娘さん達は
これらの図案をもとに
刺繍などして自分の
半衿を作っていました。



和洋家具 古陶磁

アンティーク
古民芸
アクセサリー
古布・帯



♥ 和洋家具

明治から昭和初期にかけて

主に日本で作られた和洋家具

昭和初期ミシン台脚改造テーブル ¥25000
大正時代水屋筆筒二段新入荷 ¥98000
明治時代帳場筆筒二段 ¥128000
アンティークカフェチェア 特價 ¥10000より
昭和初期鏡台 衣桁新入荷 ¥4800
箱各種新入荷 ¥4500より
格子建具新入荷
昭和小引出し 卓上本立て



♣ 古陶磁

古伊万里各種
縄文式土器
陶片色々
大正色絵各種
幕末染付大皿
昭和20年代
四国砥部焼
鯨染付小皿など
伊万里7寸皿各種
そば猪口各種
明治九谷絵皿
猪口
李朝白磁・青磁

✂ かんざし

ミルクホール製木のかんざし

木の棒1本だけで、髪をくるくる
まとめて自由自在にアップにする
ことができます。

髪の長さや質に合わせて、木の
棒の長さをお選び下さい。
洋服にも、着物にも気軽に楽しめ
ます。木のかんざし ¥1800より

ミルクホール製花のかんざし

大正・昭和初期の着物の生地で
可愛い花のかんざしを作りました。
手間のかかるものなので、数に限り
があります。

花のかんざし ¥2500より

くるみボタンのコーム

古い絹で作ったミルクホールの
くるみボタンでコームを作りました。
同じものが2つとないのが魅力です。

くるみボタンのコーム小 ¥1200
大 ¥2000

✂ 古布・ボタン

くるみボタン

小 ¥100 大 ¥200

明治藍染布団皮 端布色々 新入荷

楽しい端布が沢山入りました。
大きき色々使い色々、
絞りや、紬、銘仙、モスリンなど
少し前の日本の布地。